

大学番号：私101

注3

[平成29年度設置]

計画の区分：学部を設置

注1

届出

東京電機大学 システムデザイン工学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 東京電機大学
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	学長室
職名・氏名	次長 <small>モリタ</small> 森田 <small>ヨシカズ</small> 嘉一
職名・氏名	担当 <small>セキネ</small> 関根 <small>トオル</small> 徹
電話番号	03-5284-5202
（夜間）	03-5284-5202
F A X	03-5284-5240
e-mail	tdupres@jim.dendai.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

システムデザイン工学部

<情報システム工学科>

1. 調査対象大学等の概要等
2. 授業科目の概要
3. 施設・設備の整備状況、経費 (省略)
4. 既設大学等の状況
5. 教員組織の状況 (省略)
6. 留意事項等に対する履行状況等
7. その他全般的事項

<デザイン工学科>

1. 調査対象大学等の概要等
2. 授業科目の概要
3. 施設・設備の整備状況、経費 (省略)
4. 既設大学等の状況
5. 教員組織の状況 (省略)
6. 留意事項等に対する履行状況等
7. その他全般的事項

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 東京電機大学

(2) 大学名

東京電機大学

(3) 大学の位置

〒120-8551
東京都足立区千住旭町5番

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カトウ ヤスタロウ) 加藤 康太郎 (平成16年3月)		
学長	(ヤスダ ヒロシ) 安田 浩 (平成28年4月)		
学部長	(サイトウ ツヨシ) 齊藤 剛 (平成29年4月)		
情報システム工学科長	(ミヤカワ オサム) 宮川 治 (平成29年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
システムデザイン工学部 情報システム工学科 学士(工学)	工学関係	4年	130人	- 年次人	520人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	130 (-) [-]	-	() () []	1.23倍						
志願者数	3,005 (-) [23]	-	() () []							
受験者数	2,902 (-) [22]	-	() () []							
合格者数	426 (-) [4]	-	() () []							
B 入学者数	161 (-) [2]	-	() () []							
入学定員超過率 B/A	1.23									

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	161 [2] (-)	0 [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()				
4年次	/				[] ()				
計			161 [2] (-)	[] ()					

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	161 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	0 人	平成31年度	人	人		#DIV/0! %
			平成32年度	人	人		
平成32年度 入学者	人	0 人	平成32年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	161 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<システムデザイン工学部 情報システム工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部 共通教育・ 人間科学科目	フレッシュマンセミナー	1前・後		2							18 ※演習 兼 17 担当者変更のため (29)	
	文章表現法	1-2-3-4後		2							2 ※演習 兼 3 担当者変更のため (29)	
	論理的思考法	1-2-3-4前・後		2							兼 2	
	情報と職業	1-2-3-4前・後		2							兼 1	
	東京電機大学で学ぶ	1前		1							兼 1	
	人間科学プロジェクト	2-3-4		2							兼 1 集中	
	人間理解	歴史理解の基礎	1-2-3-4前・後		2							兼 1 2 担当者変更のため (29)
		哲学と倫理の基礎	1-2-3-4前・後		2							兼 3
		認知心理学	1-2-3-4前・後		2							兼 1
		人間関係の心理	1-2-3-4前・後		2							兼 1
		自己心理学セミナー	1-2-3-4前・後		2							兼 4
		情報デザインと心理	1-2-3-4前・後		2							兼 1 ※演習
		芸術	1-2-3-4前・後		2							兼 2
	社会理解	実用法律入門	1-2-3-4前・後		2							兼 1
		日本国憲法	1-2-3-4前・後		2							兼 1
		日本経済入門	1-2-3-4前・後		2							兼 1
		介護福祉論	1-2-3-4前・後		2							兼 1
		企業と社会	1-2-3-4前・後		2							兼 1
		大学と社会	1-2-3-4後		2							兼 1
		企業と経営	1-2-3-4前・後		2							兼 1
	スポーツ・健康	健康と生活	1-2-3-4前・後		2							兼 1
		身体運動のしくみ	1-2-3-4前・後		2							兼 1
		トリムスポーツⅠ	1-2-3-4前		2							13 ※講義 兼 11 担当者変更のため (29)
		トリムスポーツⅡ	1-2-3-4後		2							13 ※講義 兼 11 担当者変更のため (29)
		体力科学演習	1-2-3-4前・後		2							兼 1
		アウトドアスポーツA	1-2-3-4前		1							4 集中 (隔年) 兼 3 担当者変更のため (29)
		アウトドアスポーツB	1-2-3-4前		1							4 集中 (隔年) 兼 3 担当者変更のため (29)
		アウトドアスポーツC	1-2-3-4後		1							4 集中 (隔年) 兼 3 担当者変更のため (29)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
情報	コンピュータリテラシー	1前	2			1 0	1	1			8 6	※演習 担当者変更のため (29)
	コンピュータプログラミング I	1前・後	2			1 0	3 2				16 7	※演習 担当者変更のため (29)
基幹科目群	総合英語 I	1前		1							20 12	担当者変更のため (29)
	口語英語 I	1前		1							17 5	担当者変更のため (29)
	総合英語 II	1後		1							18 12	担当者変更のため (29)
	口語英語 II	1後		1							14 5	担当者変更のため (29)
	総合英語 III	2前		1							兼 11	
	総合英語 IV	2後		1							兼 11	
	学部共通教育・英語科目 発展科目群	英語演習 A	2・3前・後		1							兼 3
英語演習 B		2・3前・後		1							兼 4	
英語演習 C		2・3前・後		1							兼 2	
英語演習 D		2・3前・後		1							兼 3	
英語演習 E		2・3前・後		1							兼 2	
英語演習 F		3前・後		1							兼 2	
英語演習 G		3前・後		1							兼 2	
英語演習 H		4前・後		1							兼 2	
英語演習 I		4前・後		1							兼 1 4	集中
国内英語短期研修		1・2・3・4		1							兼 3	担当者変更のため (29)
海外英語短期研修	1・2・3・4		2							兼 1	集中	
留学生科目	日本語中級 I A	1前		1							兼 1	
	日本語中級 I B	1前		1							兼 1	
	日本語中級 I C	1前		1							兼 1	
	日本語中級 II A	1後		1							兼 1	
	日本語中級 II B	1後		1							兼 1	
	日本語中級 II C	1後		1							兼 1	
	日本語上級 I	2前		1							兼 1	
	日本語上級 II	2後		1							兼 1	
	日本事情 A	1後		2							兼 1	
	日本事情 B	2前		2							兼 4	オムニバス
専門教育科目 学科基礎	デジタル回路 I	1後	2			2	1 0	1				担当者変更のため (29)
	確率・統計 I	1後	2			2						
	情報通信基礎	1後	2			2		1				
	情報通信とネットワーク	2前	3			2						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	学科基礎	データベースシステム	2前	2			2					
		コンピュータ構成	2前	2			1					
		オペレーティングシステムⅠ	2後	2			1					
		情報化社会と法規	3後	2			1					
		情報処理の基礎	1前	2				2 ↓		1		担当者変更のため(29)
	ネットワーク	IPネットワーク構築法	2後		3		2					オムニバス
		ネットワークセキュリティ	3後		3		2					
		情報通信理論	2後		2		3					オムニバス
		分散プログラミング	3前		2				1			
		ネットワークサービス構築法	3前		3		3					オムニバス
		人工知能	4前		2		1					
	コンピュータ	デジタル回路Ⅱ	2前		2		2			1		
		先進コンピュータシステム	2後		2		1					
		オペレーティングシステムⅡ	3前		2		1					
		数値科学と数値計算	3後		2		1					
		先進コンピュータプログラミング	4前		2		1					
		組込みシステム設計	4前		3		1					
	プログラミング	コンピュータプログラミングⅡ	1前	2			1 0	2				担当者変更のため(29)
		コンピュータプログラミングⅢ	1後	4			1 0	2				担当者変更のため(29)
		C言語プログラミング	2前	2			1	1	1			
データ構造とアルゴリズム		2後	2				1				※演習 誤記載(准教授→教授への昇任1名)のため(29)	
データ形式と演習		3前		2		1 0	1 2					
離散数学		2前		2		1						
UML演習		2後		2			1				※演習 誤記載(准教授→教授への昇任1名)のため(29)	
オブジェクト指向設計		3前		2		1 0	0 1					
多言語プログラミング		3後		2		2 1	1 2				オムニバス 誤記載(准教授→教授への昇任1名)のため(29)	
マルチメディア工学		4前		2		1						
ソフトウェア工学	4前		2		1 0	0 1				誤記載(准教授→教授への昇任1名)のため(29)		
データベース	データベース言語SQL	2後		2		1						
	データウェアハウス	3前		2		1						
	データマイニング	3後		2		1						
	トランザクション処理システム	3後		2		1						
	情報推薦システム	4前		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	データ解析	確率・統計Ⅱ		2		1						
		Rによる多変量解析		2		1						
		一般化線形モデル		2		1						
		オペレーションズリサーチ		2		1						
		機械学習		2		1						
	演習プロジェクト	情報システム工学実験Ⅰ	3前	2			11	2	1			誤記載（准教授→教授への昇任1名）のため（29）
		情報システム工学実験Ⅱ	3後	2			11	2	1			誤記載（准教授→教授への昇任1名）のため（29）
		卒業研究A	4通	2			11	2	1			誤記載（准教授→教授への昇任1名）のため（29）
		卒業研究B	4通		4		11	2	1			誤記載（准教授→教授への昇任1名）のため（29）
		挑戦型プロジェクト	3通		4		11	2	1			誤記載（准教授→教授への昇任1名）のため（29）
情報システム工学PBL		2後		2		11	2	1			誤記載（准教授→教授への昇任1名）のため（29）	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成28年度に認可（届出）された大学等は設置認可（届出）時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
26	112	0	138	26	112	0	138	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{138} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	東京電機大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
《AC対象学部等》									
工学部									
電気電子工学科	4	120	—	750	学士 (工学)	1.13	平成19年度	東京都足立区 千住旭町5番 千葉県印西市 武西学園台2-1200	平成29年より学生募集 停止
電子システム工学科	4	90	—	360	学士 (工学)	1.08	平成29年度		
環境化学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成19年度		
応用化学科	4	80	—	320	学士 (工学)	1.11	平成29年度		
機械工学科	4	110	—	440	学士 (工学)	1.16	平成19年度		
先端機械工学科	4	100	—	400	学士 (工学)	1.14	平成29年度		
情報通信工学科	4	110	—	440	学士 (工学)	1.13	平成19年度		
工学部第二部									
電気電子工学科	4	50	2年次 2 3年次 2	210	学士 (工学)	1.18	平成20年度	東京都足立区 千住旭町5番	
機械工学科	4	50	2年次 2 3年次 2	210	学士 (工学)	1.03	昭和37年度		
情報通信工学科	4	50	2年次 2 3年次 2	210	学士 (工学)	1.16	昭和36年度		
理工学部									
理工学科	4	600	—	2,400	学士(工 学)、学士 (理学)、 学士(情報 学)	1.09	平成19年度	埼玉県比企郡 鳩山町石坂	
情報環境学部									
情報環境学科	4	—	—	—	学士(情報 環境学)	—	平成13年度	千葉県印西市 武西学園台2-1200	平成29年より学生募集 停止
未来科学部									
建築学科	4	130	—	520	学士 (工学)	1.12	平成19年度	東京都足立区 千住旭町5番 千葉県印西市 武西学園台2-1200	
情報メディア学科	4	110	—	440	学士 (工学)	1.06	平成19年度		
ネット・メディア学科	4	110	—	440	学士 (工学)	1.06	平成19年度		
システムデザイン工学部									
情報システム工学科	4	130	—	520	学士 (工学)	1.23	平成29年度	東京都足立区 千住旭町5番 千葉県印西市 武西学園台2-1200	
デザイン工学科	4	110	—	440	学士 (工学)	1.09	平成29年度		
大学院工学研究科修士課程									
電気電子工学専攻	2	60	—	120	修士 (工学)	1.00	平成21年度	東京都足立区 千住旭町5番	
物質工学専攻	2	25	—	50	修士 (工学)	1.10	平成3年度		
機械工学専攻	2	55	—	110	修士 (工学)	0.92	平成13年度		
情報通信工学専攻	2	30	—	60	修士 (工学)	0.65	平成2年度		
大学院理工学研究科修士課程									
理学専攻	2	15	—	30	修士 (理学)	0.66	平成21年度	埼玉県比企郡 鳩山町石坂	
生命理工学専攻	2	25	—	50	修士 (工学)	0.82	平成21年度		
情報学専攻	2	35	—	70	修士 (情報学)	0.98	平成21年度		
電子・機械工学専攻	2	35	—	70	修士 (工学)	1.01	平成25年度		
建築・都市環境学専攻	2	12	—	24	修士 (工学)	0.79	平成25年度		

大学の名称	東京電機大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地
大学院情報環境学研究科修士課程 情報環境学専攻	2	40	—	80	修士（情報環境学）	0.58	平成21年度	千葉県印西市 武西学園台2-1200
大学院未来科学研究科修士課程 建築学専攻	2	60	—	120	修士（工学）	0.74	平成21年度	
情報メディア学専攻	2	35	—	70	修士（工学）	1.04	平成21年度	
味'ット・カト'ロクス専攻	2	50	—	100	修士（工学）	1.11	平成21年度	東京都足立区 千住旭町5番
大学院先端科学技術研究科博士課程（後期） 数理学専攻	3	3	—	9	博士（理学）	0.33	平成18年度	東京都足立区 千住旭町5番
電気電子システム工学専攻	3	5	—	15	博士（工学）	0.40	平成18年度	
情報通信メディア工学専攻	3	5	—	15	博士（工学）	0.26	平成18年度	
機械システム工学専攻	3	5	—	15	博士（工学）	0.33	平成18年度	埼玉県比企郡 鳩山町石坂
建築・都市環境工学専攻	3	3	—	9	博士（工学）	0.55	平成18年度	千葉県印西市 武西学園台2-1200
物質生命理工学専攻	3	3	—	9	博士（工学）、博士（理学）	0.55	平成18年度	
先端技術創成専攻	3	5	—	15	博士（工学）、博士（理学）	0.33	平成18年度	
情報学専攻	3	3	—	9	博士（情報学）	0.22	平成18年度	

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
- ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
- ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
- ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成29年4月)	該当なし	留意事項	—	—
設 置 時 (平成29年4月)	該当なし	是正意見	—	—
設 置 時 (平成29年4月)	該当なし	改善意見	—	—

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<システムデザイン工学部 情報システム工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・ 教育改善推進委員会
- ・ 教学委員会
- ・ システムデザイン工学部運営委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 教育改善推進委員会は年2回程度開催（教員委員8名、事務職員委員3名が参加）
- ・ 教学委員会は月1回開催（教員委員8名、事務職員委員3名が参加）
- ・ システムデザイン工学部運営委員会は月1回開催（教員委員9名が参加）

c 委員会の審議事項等

- ・ 教育改善推進委員会
教育活動の評価・改善（方策）、ファカルティ・ディベロップメント（FD）の活動状況と成果、その他教育改善に関する事項
- ・ 教学委員会
学部の教育方針、カリキュラム・時間割、教務等に関する事項
- ・ システムデザイン工学部運営委員会
将来計画、入学試験、教務、学生の厚生補導及び賞罰、自己点検・評価等に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・ シラバスの作成
- ・ FD/SDセミナー
- ・ ステークホルダーアンケート（本学の課題）
- ・ 新任教員オリエンテーション

b 実施方法

- ・ シラバスは統一されたフォーマットに基づき作成し、第三者評価を行う。
- ・ FD/SDについては、教育改善推進室を中心に、組織的かつ全学的な活動を展開している。
- ・ ステークホルダーアンケートは、全学的に実施し、卒業年次生・新入生・父母等の満足度を調査する。

- ・ 新任教員オリエンテーションは、新規採用教員を対象に教員としての心構え、職務内容等について研修を行う。
 - c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・ シラバスの作成については、全科目において行う。
 - ・ 平成28年度のFD/SDセミナーは、教育改善推進室等において全10回開催し、延べ714人の参加があった。
 - ・ ステークホルダーアンケートについては、卒業年次生・新入生・父母等の満足度を調査することにより学部の課題を抽出し教授会で報告する。
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・ シラバスについては、第三者評価により、記載内容や達成目標等の点検を行い、授業改善に反映させる。
 - ・ FD/SDセミナーにより、PBL科目の推進、他の教育機関との連携、知の公開を図り、授業改善及び教育の質の向上に資する
 - ・ ステークホルダーアンケート結果は、教授会で報告し、教育改善推進委員会において精査し、学科・系列において具体的な改善方策を策定する。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
 - ・ 授業評価アンケートは毎年度前期及び後期の2回実施する。
 - b 教員や学生への公開状況，方法等
 - ・ 授業評価アンケートについては、その結果を担当教員にフィードバックし、各担当教員が必要な改善を行う。また、ホームページにおいて学生への公開を行う。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

情報システム工学科は、今後ますます重要視されるビッグデータの生成（IoT）、伝達・蓄積（クラウド）、分析・解析（マイニング）のための高度情報システムを構築できる人材を養成する。

すなわち、情報システム技術と高度なプログラミングスキルに必要な専門知識と技術を学ばせるとともに、科学技術者としての高い倫理観と、時代の変化とグローバル化に対応できる能力を涵養することを目的として設置した。

本学科では、人材養成の目的を達成するため、「コンピュータ」「ネットワーク」「データサイエンス」分野の知識と技術を学ぶための科目を配置し、これらの科目は、6つの科目群、専門共通科目、ネットワーク科目、コンピュータ科目、プログラミング科目、データベース科目、データ解析科目に分類している。それぞれに、講義、演習科目、実験科目およびアクティブラーニングのためのPBL科目を体系的に配置しており、学生の専門性を高めるための教育課程編成がなされていることは評価できる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成29年度内に公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（平成29年度内を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成28年度に（公財）大学基準協会にて認証評価を受審。認証期間は、平成29年4月1日～平成36年3月31日まで。
- ・次回の認証評価受審については現在検討中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(年 月 日)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 東京電機大学

(2) 大学名

東京電機大学

(3) 大学の位置

〒120-8551
東京都足立区千住旭町5番

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カトウ ヤスタロウ) 加藤 康太郎 (平成16年3月)		
学長	(ヤスダ ヒロシ) 安田 浩 (平成28年4月)		
学部長	(サイトウ ツヨシ) 齊藤 剛 (平成29年4月)		
デザイン工学科長	(スズキ マコト) 鈴木 真 (平成29年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
システムデザイン工学部 デザイン工学科 学士(工学)	工学関係	4年	110人	- 年次人	440人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	110 (-) [-]	-	() () []	1.09倍						
志願者数	1,314 (-) [15]	-	() () []							
受験者数	1,277 (-) [14]	-	() () []							
合格者数	329 (-) [9]	-	() () []							
B 入学者数	120 (-) [9]	-	() () []							
入学定員超過率 B/A	1.09									

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	120 [9] (-)	0 [-] (-)							
2年次									
3年次									
4年次									
計	120 [9] (-)								

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	120 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	0 人	平成31年度	人	人		#DIV/0! %
			平成32年度	人	人		
平成32年度 入学者	人	0 人	平成32年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	120 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<システムデザイン工学部 デザイン工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考
			必修	選択	自由	単位	教授	准教授	講師	助教	
学部 共通教育・ 人間科学科目	フレッシュマンセミナー	1前・後		2							18 ※演習 兼 17 担当者変更のため (29)
	文章表現法	1-2-3-4後		2						2 ※演習 兼 3 担当者変更のため (29)	
	論理的思考法	1-2-3-4前・後		2						兼 2	
	情報と職業	1-2-3-4前・後		2						兼 1	
	東京電機大学で学ぶ	1前		1						兼 1	
	人間科学プロジェクト	2-3-4		2						兼 1 集中	
	歴史理解の基礎	1-2-3-4前・後		2						兼 1 2 担当者変更のため (29)	
	哲学と倫理の基礎	1-2-3-4前・後		2						兼 3	
	認知心理学	1-2-3-4前・後		2						兼 1	
	人間関係の心理	1-2-3-4前・後		2						兼 1	
	自己心理学セミナー	1-2-3-4前・後		2						兼 4	
	情報デザインと心理	1-2-3-4前・後		2						兼 1 ※演習	
	芸術	1-2-3-4前・後		2						兼 2	
	実用法律入門	1-2-3-4前・後		2						兼 1	
	日本国憲法	1-2-3-4前・後		2						兼 1	
	日本経済入門	1-2-3-4前・後		2						兼 1	
	介護福祉論	1-2-3-4前・後		2						兼 1	
	企業と社会	1-2-3-4前・後		2						兼 1	
	大学と社会	1-2-3-4後		2						兼 1	
	企業と経営	1-2-3-4前・後		2						兼 1	
	健康と生活	1-2-3-4前・後		2						兼 1	
身体運動のしくみ	1-2-3-4前・後		2						兼 1		
トリムスポーツⅠ	1-2-3-4前		2						13 ※講義 兼 11 担当者変更のため (29)		
トリムスポーツⅡ	1-2-3-4後		2						13 ※講義 兼 11 担当者変更のため (29)		
体力科学演習	1-2-3-4前・後		2						兼 1		
アウトドアスポーツA	1-2-3-4前		1						4 集中 (隔年) 兼 3 担当者変更のため (29)		
アウトドアスポーツB	1-2-3-4前		1						4 集中 (隔年) 兼 3 担当者変更のため (29)		
アウトドアスポーツC	1-2-3-4後		1						4 集中 (隔年) 兼 3 担当者変更のため (29)		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
学部共通教育・人間科学科目	技術者教養	技術者倫理	1-2-3・4前・後	2								兼2	
		失敗学	1-2-3・4前・後	2								兼1	
		情報化社会と知的財産権	1-2-3・4前・後	2								兼1	
		製造物責任法	1-2-3・4前・後	2								兼1	
		情報倫理	1-2-3・4前・後	2								兼1	
		情報とネットワークの経済社会	1-2-3・4前・後	2								兼1	
		情報化社会とコミュニケーション	1-2-3・4前・後	2								兼1	
		科学と技術の社会史	1-2-3・4前・後	2								兼1	
		科学技術と現代社会	1-2-3・4前・後	2								兼1	
		科学技術と企業経営	1-2-3・4前・後	2								兼1	
グローバル教養	グローバル社会の市民論	1-2-3・4前・後	2								兼1		
	比較文化論	1-2-3・4前・後	2								兼1		
	地球環境論	1-2-3・4前・後	2								兼1		
	国際政治の基礎	1-2-3・4前・後	2								兼1		
	ヨーロッパ理解	1-2-3・4前・後	2								兼2		
	アメリカ理解	1-2-3・4前・後	2								兼1		
	アジア理解	1-2-3・4前・後	2								兼1		
	ドイツ語・ドイツ文化	1-2-3・4前・後	2								兼1		
	中国語・中国文化	1-2-3・4前・後	2								兼2		
学部共通教育・工学基礎科目	ワークショップ	ワークショップ	1後	2			3 8	0 2	0 1	1 0		担当者変更のため (29)	
		数学	微分積分学および演習I	1前	4							兼21 ※演習	
			線形代数学I	1前	2						兼22		
	物理	基礎物理学A	1前・後	2								7 択一必修 兼6 担当者変更のため (29)	
		基礎物理学B	1前・後	2								2 択一必修 兼4 担当者変更のため (29)	
		物理実験	1前・後	1								11 担当者変更のため (29) 兼8	
	化学・生物	基礎化学	1前・後	2								23 担当者変更のため (29) 兼4	
		化学・生物実験	1前・後	1								21 担当者変更のため (29) 兼14	
	自然科学	その他	自然科学概論A	1-2前・後	2								3 担当者変更のため (29) 兼6
			自然科学概論B	1-2前・後	2								4 担当者変更のため (29) 兼6
自然科学概論C			1-2前・後	2								2 担当者変更のため (29) 兼4	
自然科学概論D			1-2前・後	2								4 担当者変更のため (29) 兼2	
自然科学概論E			1-2前・後	2								兼7 オムニバス	
自然科学概論F			1-2前・後	2				3 0				8 担当者変更のため (29) 兼4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	実習・演習・プロジェクト	デザイン工学基礎実習	1前	2			3 7	0 2	0 1	1 0			担当者変更のため (29)
		デザイン工学PBL-A	2前	2			7	2	1				
		デザイン工学PBL-B	2後	2			7	2	1				
		デザイン工学プロジェクトA	3前	2			7	2	1				
		デザイン工学プロジェクトB	3後	2			7	2	1				
		卒業研究A	4通	2			8	2	1				
		卒業研究B	4通		4		8	2	1				
	学科基礎	デザイン工学概論Ⅰ	1前	2			5 2		1 0	1 0			2 兼0 オムニバス 担当者変更のため (29)
		デザイン工学概論Ⅱ	1後	2			5 4	1 0					オムニバス 担当者変更のため (29)
		技術日本語表現法	1後	2					0 1				1 兼0 担当者変更のため (29)
		回路基礎	2前	2			1 0	1 2					誤記載 (准教授→教授への昇任1名)のため (29)
		材料力学	2前	2			1 2		0 0				誤記載 (准教授→教授への昇任1名)のため (29)
		コンピュータプログラミングⅡ	2前	2			1 1						
		デジタル信号処理	2後	2					1 1				
	専門数学	微分積分学および演習Ⅱ	1後		4								5 兼1 ※演習 担当者変更のため (29)
		微分方程式Ⅰ	1後		2								兼1
		線形代数学Ⅱ	1後		2								5 兼1 担当者変更のため (29)
		確率・統計	1後		2								兼1
	デザイン手法	人間中心設計	2前		2		1						
		ユーザインタフェース	2後		2		1						
		環境心理学	2後		2		1						
		ユーザビリティ評価	3前		2		1						
		感性計測	3後		2		1						
		インタラクションデザイン	3後		2		1						
	人間・社会科学	デザインのための認知科学	2前		2		1						
		デザインのための社会科学	2後		2		1						
		社会・認知心理学	3前		2		1						
		言語・非言語コミュニケーション	3後		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	自	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	木材加工	2前			1							兼1
	栽培	2前			1							兼1
	職業指導	3前			2							兼1
	工業技術概論	3後			2							兼2

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
23	126	4	153	23	126	4	153	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止 (教育課程から削除) した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{153} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	東京電機大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
《AC対象学部等》									
工学部									
電気電子工学科	4	120	—	750	学士 (工学)	1.13	平成19年度	東京都足立区 千住旭町5番 千葉県印西市 武西学園台2-1200	平成29年より学生募集 停止
電子システム工学科	4	90	—	360	学士 (工学)	1.08	平成29年度		
環境化学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成19年度		
応用化学科	4	80	—	320	学士 (工学)	1.11	平成29年度		
機械工学科	4	110	—	440	学士 (工学)	1.16	平成19年度		
先端機械工学科	4	100	—	400	学士 (工学)	1.14	平成29年度		
情報通信工学科	4	110	—	440	学士 (工学)	1.13	平成19年度		
工学部第二部									
電気電子工学科	4	50	2年次 2 3年次 2	210	学士 (工学)	1.18	平成20年度	東京都足立区 千住旭町5番	
機械工学科	4	50	2年次 2 3年次 2	210	学士 (工学)	1.03	昭和37年度		
情報通信工学科	4	50	2年次 2 3年次 2	210	学士 (工学)	1.16	昭和36年度		
理工学部									
理工学科	4	600	—	2,400	学士(工 学)、学士 (理学)、 学士(情報 学)	1.09	平成19年度	埼玉県比企郡 鳩山町石坂	
情報環境学部									
情報環境学科	4	—	—	—	学士(情報 環境学)	—	平成13年度	千葉県印西市 武西学園台2-1200	平成29年より学生募集 停止
未来科学部									
建築学科	4	130	—	520	学士 (工学)	1.12	平成19年度	東京都足立区 千住旭町5番 千葉県印西市 武西学園台2-1200	
情報メディア学科	4	110	—	440	学士 (工学)	1.06	平成19年度		
ネット・メディア学科	4	110	—	440	学士 (工学)	1.06	平成19年度		
システムデザイン工学部									
情報システム工学科	4	130	—	520	学士 (工学)	1.23	平成29年度	東京都足立区 千住旭町5番 千葉県印西市 武西学園台2-1200	
デザイン工学科	4	110	—	440	学士 (工学)	1.09	平成29年度		
大学院工学研究科修士課程									
電気電子工学専攻	2	60	—	120	修士 (工学)	1.00	平成21年度	東京都足立区 千住旭町5番	
物質工学専攻	2	25	—	50	修士 (工学)	1.10	平成3年度		
機械工学専攻	2	55	—	110	修士 (工学)	0.92	平成13年度		
情報通信工学専攻	2	30	—	60	修士 (工学)	0.65	平成2年度		
大学院理工学研究科修士課程									
理学専攻	2	15	—	30	修士 (理学)	0.66	平成21年度	埼玉県比企郡 鳩山町石坂	
生命理工学専攻	2	25	—	50	修士 (工学)	0.82	平成21年度		
情報学専攻	2	35	—	70	修士 (情報学)	0.98	平成21年度		
電子・機械工学専攻	2	35	—	70	修士 (工学)	1.01	平成25年度		
建築・都市環境学専攻	2	12	—	24	修士 (工学)	0.79	平成25年度		

大学の名称	東京電機大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地
大学院情報環境学研究科修士課程 情報環境学専攻	2	40	—	80	修士（情報環境学）	0.58	平成21年度	千葉県印西市 武西学園台2-1200
大学院未来科学研究科修士課程 建築学専攻	2	60	—	120	修士（工学）	0.74	平成21年度	
情報メディア学専攻	2	35	—	70	修士（工学）	1.04	平成21年度	
味'ット・カト'ロクス専攻	2	50	—	100	修士（工学）	1.11	平成21年度	東京都足立区 千住旭町5番
大学院先端科学技術研究科博士課程（後期） 数理学専攻	3	3	—	9	博士（理学）	0.33	平成18年度	東京都足立区 千住旭町5番
電気電子システム工学専攻	3	5	—	15	博士（工学）	0.40	平成18年度	
情報通信メディア工学専攻	3	5	—	15	博士（工学）	0.26	平成18年度	
機械システム工学専攻	3	5	—	15	博士（工学）	0.33	平成18年度	埼玉県比企郡 鳩山町石坂
建築・都市環境工学専攻	3	3	—	9	博士（工学）	0.55	平成18年度	千葉県印西市 武西学園台2-1200
物質生命理工学専攻	3	3	—	9	博士（工学）、博士（理学）	0.55	平成18年度	
先端技術創成専攻	3	5	—	15	博士（工学）、博士（理学）	0.33	平成18年度	
情報学専攻	3	3	—	9	博士（情報学）	0.22	平成18年度	

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
- ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
- ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
- ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成29年4月)	該当なし	留意事項	—	—
設 置 時 (平成29年4月)	該当なし	是正意見	—	—
設 置 時 (平成29年4月)	該当なし	改善意見	—	—

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<システムデザイン工学部 デザイン工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・ 教育改善推進委員会
- ・ 教学委員会
- ・ システムデザイン工学部運営委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 教育改善推進委員会は年2回程度開催（教員委員8名、事務職員委員3名が参加）
- ・ 教学委員会は月1回開催（教員委員8名、事務職員委員3名が参加）
- ・ システムデザイン工学部運営委員会は月1回開催（教員委員9名が参加）

c 委員会の審議事項等

- ・ 教育改善推進委員会
教育活動の評価・改善（方策）、ファカルティ・ディベロップメント（FD）の活動状況と成果、その他教育改善に関する事項
- ・ 教学委員会
学部の教育方針、カリキュラム・時間割、教務等に関する事項
- ・ システムデザイン工学部運営委員会
将来計画、入学試験、教務、学生の厚生補導及び賞罰、自己点検・評価等に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・ シラバスの作成
- ・ FD/SDセミナー
- ・ ステークホルダーアンケート（本学の課題）
- ・ 新任教員オリエンテーション

b 実施方法

- ・ シラバスは統一されたフォーマットに基づき作成し、第三者評価を行う。
- ・ FD/SDについては、教育改善推進室を中心に、組織的かつ全学的な活動を展開している。
- ・ ステークホルダーアンケートは、全学的に実施し、卒業年次生・新入生・父母等の満足度を調査する。

- ・ 新任教員オリエンテーションは、新規採用教員を対象に教員としての心構え、職務内容等について研修を行う。
 - c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・ シラバスの作成については、全科目において行う。
 - ・ 平成28年度のFD/SDセミナーは、教育改善推進室等において全10回開催し、延べ714人の参加があった。
 - ・ ステークホルダーアンケートについては、卒業年次生・新入生・父母等の満足度を調査することにより学部の課題を抽出し教授会で報告する。
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・ シラバスについては、第三者評価により、記載内容や達成目標等の点検を行い、授業改善に反映させる。
 - ・ FD/SDセミナーにより、PBL科目の推進、他の教育機関との連携、知の公開を図り、授業改善及び教育の質の向上に資する。
 - ・ ステークホルダーアンケート結果は、教授会で報告し、教育改善推進委員会において精査し、学科・系列において具体的な改善方策を策定する。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
 - ・ 授業評価アンケートは毎年度前期及び後期の2回実施する。
 - b 教員や学生への公開状況，方法等
 - ・ 授業評価アンケートについては、その結果を担当教員にフィードバックし、各担当教員が必要な改善を行う。また、ホームページにおいて学生への公開を行う。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

デザイン工学科は、人々を活性化させる魅力的な生活空間の創造に必要な「もの・サービス・空間」をデザインし具現化できる人材を養成する。

すなわち、情報・電気・機械の工学領域を基盤に人間科学領域を融合させた統合的体系の中で、人々を活性化させる魅力的な生活空間の創造に必要な知識を学ばせるとともに、科学技術者として高い倫理観と、時代の変化とグローバル化に対応できる能力を涵養することを目的として設置した。

本学科では、人材養成の目的を達成するため、「もの・サービス・空間」を創造するために必要な工学分野および人間科学分野の知識と技術を学ぶための科目を配置している。これらの科目は、4つの科目群、すなわち、専門共通科目、デザイン手法科目、デザイン実践科目、工学専門（電気電子系、機械系、情報系）科目に分類している。それぞれに、講義、演習科目、およびアクティブラーニングのためのPBL科目を体系的に配置しており、学生の専門性を高めるための教育課程編成がなされていることは評価できる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成29年度内に公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（平成29年度内を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成28年度に（財）大学基準協会にて認証評価を受審。認証期間は、平成29年4月1日～平成36年3月31日まで。
- ・次回の認証評価受審については現在検討中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(年 月 日)